

マルタンヤンマ

Anaciaeschna martini

兵庫県：要調査

環境省： —

種の概要

腹長48～59mm、後翅長41～50mm程度で、茶色の地に、♂は青色、♀は黄緑色をした胸側条がある。黄昏飛翔性が強い。♀は夕方に水のたっぷりある湿地や植生豊かな池に降りてきて、植物内産卵を行う。一年一化で幼虫で冬を越す。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州、奄美大島まで

県内分布記録

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、太子町、佐用町、香美町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>

特記事項

新規追加種

近年県下での報告が非常に少なくなった。黄昏時に飛ぶ性質があり、そのときでないとは発見が難しい種である。最近の発見・報告状況はBランク相当であるが、幼虫や黄昏時の調査不足の可能性もあり、要調査種とした。

保護上の留意点